

特集

震災資料の
メッセージ

人と防災未来センター西館3階の震災の記憶フロアには、震災の記憶を残す「記憶の壁」として、市民の協力によって収集された震災資料を資料提供者の体験談とともに展示しています。紙資料を被災環境の変化に沿って壁部分に、実物のモノ資料は壁前面に配し、ここには写真資料約500点、手記約260点、モノ資料約70点、合わせて約830点の展示資料が見られます。しかし、これは所蔵する18万点以上もの一次資料にとって約0.5%に過ぎません。

そこで、コレクション公開を企図し、毎年度1回の震災資料を活用した企画展に加え、2013年度より、常設展(3階)の一角にスポット展示「震災資料のメッセージ」を設置し、年度ごとにテーマを決めて4期の展示を行っています。

同企画では、人と防災未来センターに寄贈された一次資料(震災当時に使用された現物)を年度ごとのテーマに沿って紹介しています。2013年度から2015年度はそれぞれ4期に区分し、震災資料専門員が選んだ震災資料について調査先情報や時代背景をもとに解説してきました。

2013年度に始まった「震災資料のメッセージ」も4年目を迎えました。今年度は「1.17と鉄道・道路」をテーマに、第1期「鉄道」、第2期「道路」と、それぞれ関連した資料を展示します。暮らしに欠かせない「道」という身近な存在が、どのような被害に遭い、復興していったのかを資料を通して振り返ります。

各年度のテーマは次の通りです。

●2016年度
「1.17と鉄道・道路」



●2015年度
「食」



●2014年度
「資料で、あのときをのぞいてみよう」



●2013年度
「1.17の衝撃」



2016-2013年度展示資料目録

年度・時期	資料番号	調査先名称	資料名称	資料様式 (縦×横×高さ/cm)
2016・1期	0000494-000001	山下 順	阪急電鉄3109車両前面扉	78×184×5cm/1枚
2016・1期	0000495-000001	味岡敏彦	JR通勤定期券(1995年1月17日から3ヵ月間)	5.8×8.5cm/1枚
2016・2期	2600429-000001	加納康之	復興物資輸送車両許可書	B5/1枚
2016・2期	1300322-000175	神戸元気村	(写真パネル)高速道路から今にも落ちそうなバス	33×40cm/1枚
2015・1期	2100353-000002	後藤正春	給水袋	55×37cm/2袋
2015・1期	3400374-002002	M氏	飲料水用ポリタンク	39×22×22cm
2015・1期	0000439-001001	A氏	避難所で配られた水詰めビール瓶	直径7×29.5cm/1本
2015・1期	0000455-001041	NHK神戸放送局	〔震災の絵〕出展作品〕水汲み	117×91cm/1点
2015・2期	0000220-001008	中西エイ子	救援物資 ビスケットしょうが湯	3×20×0.5cm/他20個
2015・2期	0000220-001006	中西エイ子	救援物資 ガム	2.1×2.1×7.6cm/7個
2015・2期	2100364-000004	斎藤勝	小形乾パン(金平糖入り)	21×13×4cm/2個
2015・3期	0000250-022001	灘中央地区ボランティア	炊き出し用大鍋	直径62×20cm/1個
2015・3期	1200792-000011	森原良美	炊き出しで最初に提供されたうどんの器	15×6.5cm/1個
2015・3期	1300322-003611	神戸元気村	炊き出しの看板	180×90cm/1枚
2015・3期	1300322-000166	神戸元気村	元気村ボランティアによる炊き出し	46×56cm/1枚
2015・4期	0000364-001001	永井倫子	カセットコンロ	28×33×8cm/1個
2015・4期	4700138-001004	松山優子	火災で焼け残った湯飲	7×8cm/1個
2015・4期	2400178-000005	大藪秀	雪平なべ	直径20cm/1個
2014・1期	0000341-002001	加賀尾宏一	ポリ容器(三重県津市から運ばれた水)	18×34×38.5cm/1個
2014・2期	0000326-001001	矢崎正道	阪神・淡路大震災を忘れないで! 童話「地球が動いた日」被災者救援募金で使用された自転車	80×142cm/1個
2014・3期	3400267-001019	産経新聞神戸総局	産経新聞神戸総局取材基地震災時使用のファックス	(ファックス)/2台
2014・4期	000289-002001-002035	FMわいわい(たかとりコミュニティセンター)	FM放送の収録されたテープ	(カセットテープ)
2013・1期	0000441-000001	山下 順	割れた壺	38×17×17cm/1個
2013・2期	4700349-001002	味岡敏彦	溶けた硬貨(缶入)	30×15×15/1個
2013・3期	3100630-001002	加納康之	液化化によって噴出した砂	(フィルムケース)/1個
2013・4期	0000386-001015	神戸元気村	焼け焦げたキーホルダー	6×4.5×11.5cm/他4点

祝 ひとぼう資料室フェイスブックページ開設1周年!

Facebookは世界で16億人以上が利用している、インターネット上のサービスです。個人で登録をすると、写真や文章をFacebook内に投稿したり、友人の投稿を見ることができます。人と防災未来センター資料室では、日々の情報を発信するため、2015年6月に「Facebookページ」を開設して1年が経ちました。

投稿した記事を見てもらうと、「閲覧数」が上がります。そして閲覧した側は「いいね！」などのボタンを押して、記事に対する反応を残すことができます。今回は、これまでに投稿した全記事89個の「閲覧数」と「いいね！数」を調べ、ランキングにしてみました。

ページは、Facebookに登録していない方でも閲覧可能です。一度、のぞいてみてください。

Find us on 

▶ <https://www.facebook.com/dri.archives/home>

閲覧数ランキング (2016年7月6日現在)

1

夏休み防災未来学校2015 資料室企画



2015年7月17日 閲覧数:3,001
唯一、閲覧数が3000を超えた記事!!
夏休みイベントか、防災ゲームへの関心が高いのか。

2

「所蔵資料図録 —暮らしのなかの震災資料— (震災資料集vol.2)の刊行



2016年3月25日 閲覧数:2,768
昨年いっぱい力を注いで作った図録。
多くの方のシェアが周知の後押しに。感謝!!

3

2015年12月の センターライトアップ (クリスマス)



2015年12月2日 閲覧数:2,711
毎月恒例となったライトアップの紹介です。
クリスマスは賑やかな動画をアップしました。

4 「震災資料のメッセージ」2016 第1期「鉄道」の展示開始

2016年6月28日 閲覧数:2,685

5 「ぼうさい甲子園」2015の募集

2015年9月25日 閲覧数:2,427

6 明石高専生徒が防災ゲーム調査のため来館

2015年8月21日 閲覧数:1,892

7 震災モニュメント「神戸の壁のベンチ」の紹介

2015年10月27日 閲覧数:1,885

8 二次資料「石巻市民から学ぶ!! 支援を活かす地域力」の紹介

2016年3月8日 閲覧数:1,749

9 夏休み防災未来学校2015の景品紹介

2015年7月19日 閲覧数:1,746

10 震災関連写真の一部ダウンロード利用開始

2015年8月25日 閲覧数:1,732



いいね!数ランキング (2016年7月6日現在)

1

震災資料のメッセージ2016 第1期「鉄道」の展示開始



2016年6月28日 いいね!:151
今年度の3F企画展紹介です。
投稿してからの日は浅いですが、
大きな新着資料への反応がトップに!

2

夏休み防災未来学校2015 資料室企画



2015年7月17日 いいね!:147
閲覧数で1位だった夏休み企画は、いいね!数でも
2位に。自分の意見を書いて残す、体験型展示クロス
ロードにはたくさんのご参加をいただきました。

3

ぼうさい甲子園2015の募集



2015年9月25日 いいね!:115
応募締切の6日前に投稿しましたが、
ラストスタートの後押しに役立てようか。

4 2016年5月のセンターライトアップ(菖蒲)

2016年5月8日 いいね!:114

5 「所蔵資料図録—暮らしのなかの震災資料— (震災資料集vol.2)の刊行

2016年3月25日 いいね!:109

6 2015年12月のセンターライトアップ(クリスマス)

2015年12月2日 いいね!:105

7 2016年6月のセンターライトアップ(紫陽花)

2016年6月2日 いいね!:96

8 阪神大震災を記録しつづける会の手記の配布

2015年9月30日 いいね!:95

9 2015年11月のセンターライトアップ(のじぎく)

2015年11月2日 いいね!:94

10 明石高専生徒が防災ゲーム調査のため来館

2015年8月21日 いいね!:93

資料室FBページへの「いいね!」が700を超え、記事を投稿する度、その皆さんに配信されています。開設や更新を手軽に行えるFBページを通して、告知も日々の出来事も随時発信できるようになりました。

また、「いいね!」での反応や、コメントを残してもらえるのも大きなポイントです。海外からの予期せぬ閲覧など、直接的ではないゆるいつながりも広がります。ひとぼう資料室の周知の実感を得るだけでなく、実は日々私たちの楽しみや大きな活力になっています。

ひとぼう
資料室

2016年度「1.17と鉄道・道路」

鉄 道 1.17 路



2016年度は、震災資料と鉄道・道路を2期に分けて振り返ります。

被災地で運行する8つの鉄道(JR・阪神・阪急・神戸・山陽・神戸高速・神戸市営地下鉄・神戸新交通)と、阪神高速道路をはじめとした道路網は、地震により大きな被害を受け、急ピッチで復旧作業が進められました。

鉄路が寸断された場所では、鉄道の振り替え輸送のバスや迂回道路が利用され、不便ながらも人々の生活をつなぎました。

1995年4月8日までにJRが全線(神戸線・山陽新幹線)の運行を再開。6月には阪神、阪急線はじめ私鉄各線も全線復旧し、8月の六甲ライナーをもって鉄道はすべて復旧。阪神高速道路は順次、再開区間を拡大しながら、1996年9月末に全線開通を果たしました。

2016年度第1期「1.17と鉄道」では、地震発生時に阪急伊丹駅で被災した車両の扉と、震災によって不通になったJRの定期券の実物と、JR、阪急、阪神等、鉄道に関する当時の写真資料を示しています。(2016年5月31日～2016年10月30日)

第2期「1.17と道路」では、高速道路の交通量の削減対策をとる際に交付された「復興物資輸送車輛標章」の実物と、ボランティア団体「神戸元気村」から多数寄贈されたパネルの中より、損壊した阪神高速道路で宙づり状態になっているバスの写真を展示します。(2016年11月1日～2017年3月26日)

資料名称 : 阪急電鉄3109車両前面扉
調査先番号 : 0000494
調査先名称 : 山下順氏
* 同資料の詳細は資料室ニュースvol.59の新着資料紹介をご覧ください。

資料名称 : JR通勤定期券(1995年1月17日から3ヵ月間)
調査先番号 : 0000495
調査先名称 : 味岡敏彦氏

地震により大きな被害を受けた鉄道各社では、復旧工事に加え、乗客への対応も急がれました。

この定期券は「3日間以上にわたる不通区間の定期券類の有効期間は延長、または払い戻し」という当時の対応策によって期間が延長されたもので、手書きで訂正されています。寄贈者の味岡さんは垂水から元町にJRで通勤していましたが、塩屋より東方では家屋の倒壊も多かったため、震災直後は自転車で40～50分かけて職場に通われていたそうです。

全線が開通するまでの2ヵ月半、度重なるダイヤの変更、焼失、紛失された定期券類の再発行、代替バスの案内など、利用者にとっても、鉄道関係者にとっても、困難な日々が続きました。



鉄道の状況

区分	震災直後(1月18日) 不通区間(km)	復旧状況 (復旧完了)
JR新幹線	京都～姫路 130.7km	4月8日
JR(東海道・山陽線)	尼崎～西明石 48.2km	4月1日
(福知山線)	塚口～広野 37.2km	1月21日
(和田岬線)	全線 2.7km	2月15日
阪神(本線)	甲子園～元町 18.0km	6月26日
(武庫川線)	全線 1.7km	1月26日
阪急(神戸線)	西宮北口～三宮 16.7km	6月12日
(甲陽線)	全線 2.2km	3月1日
(伊丹線)	全線 3.1km	3月11日
(今津線)	全線 9.3km	2月5日

区分	震災直後(1月18日) 不通区間(km)	復旧状況 (復旧完了)
神鉄(有馬線)	全線 22.5km	6月22日
(三田線)	全線 12.0km	1月19日
(粟生線)	全線 29.2km	1月19日
山陽	西代～明石 15.7km	6月18日
神戸市営地下鉄	板宿～新神戸 8.8km	2月16日
神戸新交通		
(ポートライナー)	全線 6.4km	7月31日
(六甲ライナー)	全線 4.5km	8月23日
神戸高速(東西線)	全線 7.2km	8月13日
(南北線)	全線 0.4km	6月22日

兵庫県「阪神・淡路大震災—兵庫県の1年の記録」1996年6月より作成

「震災資料」は形態も残した主体もさまざまです。それは、震災が引き起こした問題やそれに関わった人々の立場の多様さのあらわれとも言えるでしょう。したがって、テーマについても、毎年新たな切り口で設定するよう心がけています。

なぜその資料が人と防災未来センターにやってきたのか、震災当時どのように使われ、作られたのかをひとたび知ると、劣化した物体にしか見えなかった資料も途端に意味を發し始めます。

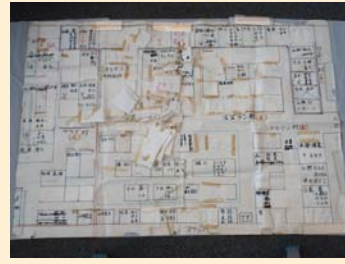
本企画を通じて資料室では、背景を寄贈者にお伺いしたり、書き残された想いを手記などの資料から読みとったりと、様々な方法で震災資料の来歴を辿っています。これからも試行錯誤を続けていきますので、よろしくお願いいたします。

新規受入れ資料紹介

新しく一次資料として登録した資料をご紹介します。
資料の目録は、資料室ホームページの検索からご覧ください。



寄贈資料の一部
(延焼図、震災の被害概要)



寄贈資料の一部
(体育館見取り図)

救急隊員が残したもの 吉本和弘氏寄贈

寄贈者の吉本さんは当時、神戸市消防局の救急隊員として兵庫署に勤務していました。1995年1月17日の地震発生直後から、火災の被害が大きかった神戸市兵庫区の松本通りから会下山町周辺の対応にあたられました。当時の延焼地図や、被害状況のまとめ等も資料に含まれ、当日のできごとや消防・救急隊員の行動を読むことができます。

「現場の経験というミクロの目で見ている。マクロでない。誤解を恐れずにお話したい。すべて私の責任である」から始まる吉本さんの文章のなかには、市民として、隊員としての両方の立場から見た震災が残されています。消防、救急に関するもののほか、連載エッセイ「全ては震災から始まった」を執筆していた東灘区の医師会の会報誌など、91点の資料をいただきました。

資料室で開架している本「消防隊員が見た阪神・淡路大震災The Great Hanshin-Awaji Earthquake As Seen by a Firefighter」(2002年/神戸市安全公社)は、吉本さんが連載原稿を中心に、まとめあげたものです。全編に英訳がつけられ、「あのとき、消防はなにをしていたのか」を、国内外を問わず今を生きる人に伝えたいという想いが込められています。本の結びには、「WTC事件の後、ニューヨーク市消防局の343名もの殉職消防職員の陰で2万5千人もの市民が無事避難することができたとの記事を読んだことで、私は心を癒されました。殉職された消防職員にこの本を捧げます」と、記されています。

避難所「神戸高校村」の記録 加藤寛氏・吉村英祐氏寄贈

震災当時、神戸高校体育館は避難所として使用されました。ピーク時には800~900人が避難し、生活する場で、寄贈者の加藤さんは地震の翌日から最後まで避難所の自治組織のリーダーを務めました。長年サッカーに関わり続ける加藤さんの運営方針は、「人命尊重・弱者優先」等、フェアプレー精神を徹底したものでした。

「神戸高校村」と呼ばれた体育館は、家族ごとに場所を区切り、さらにいくつかの世帯をまとめて管理する「村」が設けられました。寄贈の体育館見取り図にも、「ひよこ村」「スズラン村」などの名前が書かれています。退出した区画には白い紙が貼られていました(セロハンテープの劣化により、現在は剥がれています)。ほかに暮らしのルールを定め、みんなで「自治」する避難所がつけられました。

もう一人の寄贈者である吉村さんは、大阪工業大学の助教授として避難所の研究をしていました。調査のため神戸高校体育館に入り、加藤さんと出会います。避難所の閉鎖後、加藤さんから託された資料をもとに吉村さんは「阪神・淡路大震災における避難所の研究」(1998年/大阪大学出版会)内で「避難所の形成から消滅までの過程における諸問題」として神戸高校避難所について執筆。地震から20年が経って再会したお二人から「若い研究者へ」震災に強いまちづくりへとの願いとともに、いただきました資料です。

避難所運営のノートや仮設自治体解散のポスターなど、127点を登録しました。

夏休み防災未来学校2016開催中 ★イベントの詳しい情報・ご予約はセンターの特設サイトへ
→ <http://hitobou.com/event/summer/> **7/22~8/31**

資料室主催プログラム2つをご紹介します。



防災ゲーム本気あそび2016

8月の毎週水・木曜日は、資料室で防災ゲームの体験ができます。昨年も大人気だった「なまずの学校」(NPO法人プラスアーツ発行)で、いっしょにあそびましょう。



謎解き!ひとぼうツアー2016

「ひとぼう前の石は何?」「資料はどこで、どんなふう保存しているの?」ギモンにお答えしながら、普段の見学コースにはない収蔵庫へ資料専門員がご案内します。(8月6日開催)



震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。震災後、すぐには手放せなかったものの、震災の出来事を伝えるために活用したいとお考えの方は、ぜひ一度資料室までご相談ください。

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念
DRI 人と防災未来センター 資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
人と防災未来センター西館5階
TEL.078-262-5058 FAX.078-262-5062

資料室は無料でご利用いただけます

HPアドレス <http://www.dri.ne.jp>
開室時間 9:30~17:30(展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)
閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日) 12月29日から1月3日

